

特集／先崎光那珂市長2期就任インタビュー

広告

企画・制作 建設未来通信社広告部

住みよさ + 活力あふれるまちへ



◆プロフィール◆

先崎光(まっさき・ひかる) 1957年(昭和32年)12月21日生まれ。県立太田第一高等学校卒。瓜連町議会議員(2期)、那珂市議会議員(2期)、県議会議員(2期)を経て2019年から現職。趣味はスポーツ(サイクリング・バレー・野球・ソフトボール)

2月13日より私の2期目がスタートした。通常では登戸式、あるいは職員への訓示を行うのが慣例と思われるかもしれないが、新年の御初めにおいても職員の皆さんにお話をさせていただいているし、あえて繰り返す必要もないだろう。それより職員の方には、業務を行つていただきたいと考え、登戸式は行われることとした。2期目入り、色々なことを考へているが、基本的には市民の皆さんにお約束した公約を肅々と進めなければならない。1期目を簡

単に振り返ると、4年間があつたという間であつたと感じている。就任当初は茨城園体に向けて努力し、成功裏に終わつたと思ったのも束の間、令和元年春台風による大災害が発生した。那珂市は久慈川と那珂川の両一級河川を抱えているので、流域の方々のこととは大変心配であつたし、実際に

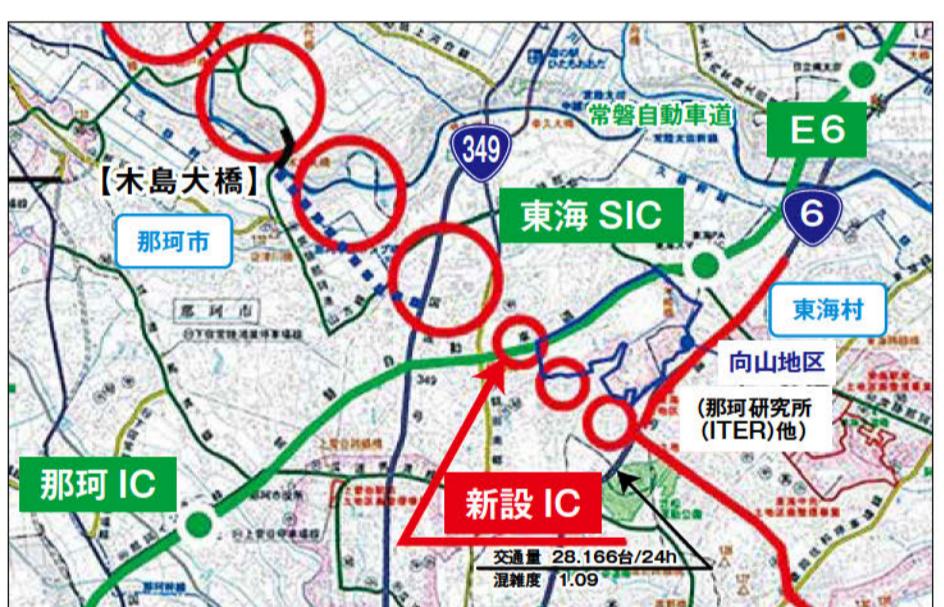
たという背景がある。私たちが計画している道の駅は、まさに県北の玄関口としての立地を活かして地域振興に大きな役割を果たしていくもの。農業を中心とした産業振興は當然で、信、情報発信、そして防災拠点。

ご承知のようにひとたび

また種に花を咲かせ、果実を収穫する、そこまで頑張っていかなければいけないと考えている。2期目の重点事業として、まずは四中学校コミュニティセンターの建設。これは菅谷地区におけるまちづくりの拠点になる施設。市は5万4000人の人口を有しているが、このうち



新しい動脈へICを誘致



た公約を肅々と進めることを希望している。市民の皆さんに訴えてきたい。市議会議員の4年間をしっかりと実現するため、二期目に足をつけて頑張つていきたい。

地域雇用と地域経済を支え、那珂市の更なる発展に尽力します

那珂市建設業協同組合

〒311-0105 茨城県那珂市菅谷696-1
TEL 029-295-3318 FAX 029-295-3254

理事長 浅川 清司
副理事長 高野 潔

副理事長 鶴田 哲男
理事 飯塚 順一

理事 高橋 一正
理事 田中 正平

理事 小林 悟
理事 渡邊 弘行

青山土木工業(有)
(株)浅川建設
飯塚組(有)
(有)大畠土木

片岡建設(株)
(株)キウチ建設
(有)小林土建
(株)千本杉

大和建設工業(有)
(株)高野工務店
高橋建設(株)
(有)高正建設

(株)田中工務店
(株)鶴田組
(株)テツ造園土木
(株)中庭造園土木

(株)滑川土建
(株)萩野谷産業
(株)平野産業
(株)松井建設

森島建設工業(株)
山金建設(株)
(有)渡辺工務店

市民が熱望 四中学区にコミュニティ

無投票で2期目の当選を果たした先崎光那珂市長。1期目は「住みよさプラス活力あふれるまち」をスローガンに市政運営へ尽力。令和元年台風や新型コロナウイルス感染症との戦いなどに苦心しながらも、4年間で着実に将来への種まきを進めてきた。2期目の4年間ではいよいよ次のステージへ。道の駅の整備や四中学校区コミュニティセンターの建設など大きなプロジェクトが目白押した。そして、県北地域の将来を見据えた新たなインターチェンジの誘致も目指していく先崎市長が、2期目の展望を語った。

那珂川周辺では大きな災害が発生した。その復興・復旧もままならないどころで新型コロナウイルス感染症の拡大といふ未曾有の危機が発生した。どう対処したら分からぬといふ中で国や県の指導をいただきながら職員が精一杯の努力を続け、今日に至る。これからマイクロの時代となり、日常的に色々な対応が必要となるが、これからも取り組んでいかなければならぬ。あついう間に過ぎた4年間だったが、さまざまなことに種まきをしてきた。これも市民の皆さまのご協力で理解。職員一丸となっての推進体制に支えられてのものを感じている。この種にしっかり水と栄養を与えて大きく育てていこう。

那珂市は県北の玄関口であります。もうひとつは那珂インターを新設するための拠点設施がなかった。市民の方も熱望されていたこの施設も実現された。2024年度のオーブンに向けて事業が動き出している。しっかり整備を推進していく。もうひとつは那珂インターを新設するための拠点設施としての道の駅の整備。この道の駅をどううつくしていくかが、私の2期目の中でも非常に大きなテーマとなる。

那珂市は県北の玄関口であります。よく称される。道路も鉄道も河川もみんなこの那珂市を通つて県北につながっていく。これまで歴史的に多くの交流、あるいは産業の振興という面で、那珂市が県北の玄関になつてしまつた検討に入つていく。

那珂市は那珂市内に

ターチェンジを那珂市内に

つくついていくが、私の2期

目の中でも非常に大きな

な役割を果たしていくこと

が期待される。

このことは那珂市から

市が県北の玄関になつてしまつた検討に入つていく。

そしてもうひとつ長期的な事業として、新しいイン

ターチェンジの間に、もうひと

はひとつステップアップし

たりたい。フルエンタ

ーの那珂インター・ターチェンジと

東海村のスマートインターチ

ェンジの間に、もうひと

はひとつステップアップし

たりたい。

町村の皆さまにも大きな安

心を与えることになると思

う。防災拠点としての機能

を十分に備えた道の駅とし

た上で、さらに様々な機能

について担当者が検討し

精査している。新年度から

町